

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

横浜みどりアップ計画

5か年の評価・提案

骨子案

横浜みどりアップ計画市民推進会議平成 30 年度報告書

横浜みどりアップ計画市民推進会議

平成 31 年〇月

目 次

1	はじめに	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議 平成 30 年度の活動実績	5
	(1) 平成 30 年度の活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③調査部会（現地調査）	
	④広報・見える化部会	
4	横浜みどリアップ計画 5か年の評価、提案	11
	◆計画の体系	
	◆評価・提案の概要	
	◆各取組の柱のハイライト	
(1)	取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	16
	施策 1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策 2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策 3 森と市民とをつなげる取組の推進	
(2)	取組の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる	24
	施策 1 農に親しむ取組の推進	
	施策 2 地産地消の推進	
(3)	取組の柱 3 市民が実感できる緑をつくる	31
	施策 1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進	
	施策 2 緑を楽しむ市民の盛り上げりを醸成する取組の推進	
	◆地域緑のまちづくり事業の支援を受けた活動団体の受賞	
(4)	効果的な広報の展開	40
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿	44
6	市民推進会議委員からのコメント	47
7	市民推進会議広報誌「みどリアップQ」（平成 30 年度発行分）	50

◆評価・提案の概要◆

計画全体として、…

「取組の柱1：市民とともに次世代につなぐ森を育む」については、みどりアップ計画の根幹である樹林地の指定は、小面積の指定が多くなったことや、地理的条件などにより、目標の面積に到達しませんでした。丁寧な土地所有者への働きかけに努めていることを評価します。平成31年度以降における計画では、民有樹林地の維持管理助成制度が拡充されたことから、指定が後押しされることを期待します。また、より自発的に市民や企業、地域等が樹林地に携わることで、樹林地が地域に親しまれ、良好に保全されるよう、様々な支援や情報発信等に取り組むことも必要です。

「取組の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる」については、…。

「取組の柱3：市民が実感できる緑をつくる」については、民有地における緑化の助成は、目標を下回る助成件数となりました。今後は、この実績を踏まえて見直した制度が活用され、公開性が高い場所に緑豊かな空間が創出されることを期待します。

地域緑のまちづくりは、その地区ならではの緑のまちづくりを地域が主体となって進めており、計画に基づく緑化が進むとともに、緑や花の活動を通じた地域のコミュニケーションが活発になっています。今後も様々な地区で取組が進むことを期待します。

「効果的な広報の展開」については…。

…。



取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

47 地区で緑のまちづくりが推進しています

平成 25 年度以前から継続して取り組んでいる 16 地区に加えて、5か年で 31 地区の団体と新たに協定を締結し、市内 47 地区において、様々な緑をつくる自主的な活動が行われ、地域で緑化を推進しました。



<地域緑のまちづくり実施地区一覧>



保育園・幼稚園・小中学校で多様な緑が創出されています

平成 26 年度から5か年で○か所で芝生や植木、ビオトープなどの緑化が進みました。また維持管理のための講座も開催されています。



(3)取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

街の魅力を高め賑わいづくりにつながる緑や地域の緑、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組めます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進

事業① 民有地での緑の創出

みどり税

◆事業概要(計画書から抜粋)

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や事業者の取組が不可欠です。多くの市民が目にする場所や効果的な場所での緑の創出に対する助成、地域で親しまれている名木古木の指定や、その維持管理に必要な費用の助成など、緑の創出・保全に積極的に取り組む市民・事業者を支援します。

◆実績

項目	30年度		5か年の実績※	5か年の目標
	目標	実績※		
取組 19	民有地における緑化の助成			
緑化の助成	13件	3件	23件	65件
取組 20	建築物緑化保全契約の締結			
制度運用	制度運用	1件	17件	制度運用
取組 21	名木古木の保存			
名木古木の保存	推進	新規指定 維持管理助成	未定 52本	新規指定 78本 維持管理助成 255本
取組 22	人生記念樹の配布			
苗木の配布	8,000本	6,529本	36,965本	40,000本

※30年11月末時点実績



助成を行った屋上緑化(港南区上永谷)



人生記念樹の配布(西区役所)



名木古木新規指定樹木
(金沢区釜利谷南)

事業② 公共施設・公有地での緑の創出

みどり税

◆事業概要(計画書から抜粋)

多くの市民が利用する地域の公共施設から率先し、市民が実感でき、生物多様性の向上や地域の良好な景観形成につながる緑を創出します。また、緑の少ない区などを対象に緑豊かな公園を整備するほか、市民が目にする機会の多い街路樹の計画的なせん定などにより街路樹を良好に育成するための取組を拡大します。

◆実績

項目	30年度		5か年の実績※	5か年の目標
	目標	実績※		
取組 23	公共施設・公有地での緑の創出・管理			
緑の創出	15か所	実施中	実施中	58か所
創出した緑の維持管理	推進	推進	推進	推進
取組 24	公有地化によるシンボリックな緑の創出			
緑の創出	事業推進5か所	事業推進4か所	創出2か所 事業推進3か所	5か所
取組 25	いきいきとした街路樹づくり			
街路樹の計画的なせん定	18区で推進	18区で推進	18区で推進	18区で推進

※30年11月末時点実績



公共公有地の緑化
(港北区役所)



創出した緑の維持管理
(都筑区ローザつづき)



公有地化によるシンボリックな緑の創出
(西区伊勢町もくせい公園)



街路樹の計画的な剪定
(港北区新横浜)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 民有地における緑化の助成では、目標に対して助成件数が低くとどまっていますが、今年度は、昨年度よりも若干上回る箇所での緑化を行う案件がありました。今後は、緑化される場所の所有者の方のみならず、多くの市民の皆様にも実感される緑をつくれるよう、これまでの事業内容を見直して、取組を進めていきます。
- 多くの市民が目にする街路樹をいきいき街路樹として選定し、目標樹形を決め計画的な剪定を行うことで、道路空間の限られた空間の中でも自然な樹形を形づくる取組が進み、緑陰の確保や街中の景観の向上につながっています。
- 公有地化によるシンボリックな緑の創出の取組では、緑の少ない西区において「伊勢町もくせい公園」の拡張整備が完了しました。平成30年12月には開園式を開催し、多くの方にお集まりいただきました。地元の代表の方からは本事業について、「公園が少ない西区にみどり税を使って新しい公園を作っていただき、大変ありがたい」とお褒めのお言葉をいただきました。開園した公園で幼稚園児がのびのびと遊ぶ姿を見て、事業のやりがいを感じました。

◆施策1についての評価・提案

- 民有地における緑化の助成については、目標を下回る助成件数となりました。今後は、この実績を踏まえて見直した制度が活用され、公開性が高い場所に緑豊かな空間が創出されることを期待します。
- 建築物緑化保全契約は、民有地での良好な緑地の保全につながるため、より多くの契約ができるよう継続的に制度の周知を図ってください。
- 名木古木の保存は、順調に取組が進んでいます。古くから町の象徴として親しまれる樹木を保存することは、都市の美観風致の維持に寄与するため、今後も保存されることを期待します。
- 公有地化によるシンボリックな緑の創出については、西区の伊勢町もくせい公園が開園しました。土地を取得し、整備して公開されるまでに何年もかかりますが、事業推進中の場所を含め、より多くの場所で市民が緑にふれ合える公園が着実に増えていくことを期待します。
- いきいきとした街路樹事業は、市民の身近な緑である街路樹を良好に育成する取組ですが効果が伝わりにくいことが課題です。今後新たに実施する街路樹の再生と合わせて、市民の実感につながる美しい街路樹がある街並みが創出されることを期待します。

施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進

事業③ 市民協働による緑のまちづくり

みどり税

◆事業概要(計画書から抜粋)

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。また、平成25年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して整備への支援を行います。

◆実績

項目	30年度		5か年の実績※	5か年の目標
	目標	実績※		
取組 26	地域緑のまちづくり			
地域緑化推進事業	22 地区 (うち新規 4 地区)	23 地区 (うち新規 5 地区)	47 地区 (うち新規 31 地区)	46 地区 (うち新規 30 地区)

※30年11月末時点実績



民有地の緑化(都筑区東山田地区)



緑化活動の講習会
(栄区湘南桂台地区)

事業④ 子どもを育む空間での緑の創出

みどり税

◆事業概要(計画書から抜粋)

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、園庭・校庭の芝生化など、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

◆実績※

項目	30年度		5か年の実績※	5か年の目標
	目標	実績※		
取組 27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出			
緑の創出	20 か所	実施中	実施中	100 か所
芝生等の維持管理	推進	推進	推進	推進

※30年11月末時点実績



園庭の芝生化(港南区野庭聖佳幼稚園)



小学校でのビオトープ整備
(泉区中田小学校)



校庭・園庭芝生の育て方講座



児童によるビオトープ計画づくりへの支援
(青葉区黒須田小学校)

◆事業概要(計画書から抜粋)

多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部において、来訪者の回遊性向上や生物多様性確保の観点から、エリア内での緑のネットワーク形成に寄与することも念頭に、公共施設を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力形成・賑わいづくりにつなげます。

◆実績

項目	30年度		5か年の実績※1	5か年の目標
	目標	実績※1		
取組 28	都心臨海部の緑花※2による賑わいづくり			
都心臨海部の緑花	推進	推進	推進	推進
緑花の維持管理	推進	推進	推進	推進

※1 30年11月末時点実績

※2 緑花(りよくか)とは・・・樹木や芝生などの「緑」と四季折々の彩(いろどり)としての「花」を組み合わせることで、街の魅力形成や賑わいづくりを行うものです。



緑花の維持管理(中区日本大通り)



管理者の企画によるバラ園のガイドツアー(中区山下公園)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 市民協働による緑のまちづくりでは、多くの応募をいただく中で、今年度5団体が選考を通過し、目標を上回る47地区で協定を締結しました。多くの地域で、こうした地域に根差した緑のまちづくりの機運が高まっていると感じています。また、協定締結期間が終了する団体からも、緑や花が増えたという喜びの声や、緑を通じた地域のつながりが強まったなどの声も寄せられています。
- 子どもを育む場である小中学校における園庭の芝生化では、管理方法についてアドバイザーを派遣するなど、創出した芝生が適切に管理できるよう支援を実施しています。また、ビオトープの再整備の取組では、専門家を派遣して整備計画づくりや維持管理、授業での活用法のアドバイスを行っています。子どもたちはいきいきとビオトープや地域の生き物について学び、計画づくりや整備、利用のルールづくりなどに取り組んでおり、学校の総合学習などの機会において効果的に活用されています。
- 29年春に開催された全国都市緑化よこはまフェアでは、これまで都心臨海部で育成してきた花や緑を多くの市民の皆様楽しんでいただくことができました。平成30年度はフェアの成果を継承しながら、山下公園や港の見える丘公園、新港中央広場などの整備された魅力ある空間で質の高い管理を行い、緑花による魅力・賑わいの創出につなげました。

◆施策2についての評価・提案

- 地域緑のまちづくりは、その地区ならではの緑のまちづくりを地域が主体となって進めており、計画に基づく緑化が進むとともに、緑や花の活動を通じた地域のコミュニケーションが活発になっています。計画の理念である「みんなで育むみどり豊かなまち横浜」を目指す上で地域活動の活性化は重要であり、今後も様々な地区で取組が進むことを期待します。
- 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出は目標を上回る実績となっており、樹木による緑化や花壇づくり、ビオトープ整備など多様な緑を創出できたことを評価します。ビオトープの整備では、子どもたちが専門家のアドバイスを受けながら計画を進めることで、多様な角度から緑を考えるきっかけとなっています。
- 都心臨海部の緑花による賑わいづくりとして整備された山下公園や港の見える丘公園は、全国都市緑化よこはまフェアやガーデンネックレスの会場となり、多くの市民が訪れ、市民の緑や花への関心が高まりました。今後もこの事業が、市民の誇りとなり、市民の心豊かなライフスタイルに寄与することを期待します。

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

池邊 このみ

**「横浜みどりアップ計画」の支援を受けた緑の活動団体が
第38回緑の都市賞 内閣総理大臣賞を受賞しました！
～鶴見「みどりのルート1」をつくる会（鶴見区）～**

「横浜みどりアップ計画」の取組の一つである、地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する「地域緑のまちづくり」事業による助成を受けた『鶴見「みどりのルート1」をつくる会』が、第38回「緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞しました！

『鶴見「みどりのルート1」をつくる会』は、これまで横浜みどりアップ計画市民推進会議でも、平成27年度の調査部会で現地視察するほか、市民委員が活動団体の方々にインタビューし、広報誌「みどりアップQ10号」で取り上げています。



▲みどりアップQ10号

◆活動概要

国道1号沿いでは、緑が減少し、看板やゴミが増え、防犯や景観上の問題が発生していました。そこで、緑を増やし、まちに繋がりのある温かい地域づくりを行うため、地域の市民が中心になって、沿道の店舗や学校等に呼びかけ、ブロック塀やフェンスの除去、接道部の魅力的な緑化を実現しました。また、維持管理活動のほか、緑を楽しむイベントや勉強会等も実施しています。

◆活動場所

横浜市鶴見区北寺尾交差点を中心とする国道1号の沿道約1km



◀緑化した国道1号の様子



Before



After

◀緑化の前後の様子

「地域緑のまちづくり事業」の概要

横浜市では、平成21年度からスタートした「横浜みどりアップ計画」の取組の一つとして、地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する「地域緑のまちづくり」を、市民との協働で進めています。

これまで市内の42地区において、地域、企業、学校、商店街など、多様な主体が連携しながら、魅力ある緑のまちづくりが進んでいます。

現在の制度は、「花や緑でいっぱいのお街をつくりたい」という地域の皆様の思いを、緑化の計画として提案していただき、選考を通過した団体と市が協定を締結します。協定を締結した団体は、地域における緑化の整備や活動に対して最長3年の助成を受けることができます。